

令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）事業報告

会議開催

I 定時総会

令和元年6月13日（木）令和元年度定時総会を福岡市博多区博多駅前2丁目福岡朝日ビル会議室において開催し、会員総数61名のうち、55名（内、委任状30名）により平成30年度（H30.4.1～H31.3.31）事業報告及び決算報告、監査報告について審議のうえ承認された。

また、令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）事業計画及び収支予算について説明し報告を行った。

II 理事会

令和元年度は理事会を5回開催し、会の運営に関する諸事項について審議のうえ議決した。

第1回理事会 令和元年5月29日

- 承認事項
1. 令和元年度定時総会に付議する事項
 - ・平成30年度（H30.4.1～H31.3.31）事業報告及び決算報告について
 - ・監査報告
 2. 事務局組織の変更について
 3. 総会の開催と提出議題について

- 報告事項
1. 協会の状況報告について
 2. 令和元年度事業計画及び予算について

第2回理事会 令和元年7月9日（持ち回り）

- 承認事項
1. 顧問の選任（荒牧軍治氏）について

第3回理事会 令和元年12月12日

- 承認事項
1. 会員の新規加入について
 2. 常勤理事報酬規程の改正について
 3. 職務執行状況報告について

- 報告事項
1. 「不要資産の国庫納付」要請対応について
 2. 新規事業取組みの現状について

第4回理事会 令和2年1月22日
承認事項 1. 主たる事務所の移転について

第5回理事会 令和2年3月25日
承認事項 1. 令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）事業計画（案）及び
収支予算（案）について
2. 役員報酬について
3. 職務執行状況報告について
報告事項 1. 協会の状況報告について
2. 令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）事業見込及び決算見
込み額について

実施した事業

一般社団法人への移行に伴い、令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）は下記の公益目的の支出計画に基づく実施事業並びに収益事業として書籍販売事業、派遣事業、技術支援事業を実施した。

I 公益目的支出計画に基づいて実施した事業
（別紙：「公益目的支出計画実施報告書」のとおり。）

II 収益事業

1. 書籍販売事業
 - ・実施事業で刊行する「九州技報」の販売を実施した。
2. 派遣事業
 - ・計器監視業務への派遣を実施した。
3. 技術支援事業
 - ・研修・講習事業を実施した。

附属明細書

令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）における事業報告につき、その内容を補足すべき重要な事項は存在しない。

(別 紙)

公益目的支出計画実施報告書

I 公益目的支出計画に基づいて実施した事業

1. 支援事業

ダム・水資源及びこれに関連する地域づくり等に関する下記事業を支援した。

① 地域活性化等支援事業

地域住民やNPO等、市民や市民団体を中心とした地域づくり活動、防災活動、各種学習会等の公益活動を行った 25 団体に対して助成を行った。

② 調査・研究等支援事業

大学・高等専門学校、個人研究者等が行う社会資本整備、水資源環境、総合防災に関する調査・研究活動者 6 名に対して助成を実施した。

2. 自主事業

建設技術広報事業

産・学・官共同の編集委員会のもと、九州地方の建設技術についての最新情報を集めた情報誌『九州技報』を 2 回（9 月、3 月）刊行した。

3. 公益目的支出計画に基づく特定寄附

当協会の特例社団法人から一般社団法人への移行に伴い、『「道路関係業務の執行のあり方改革本部最終報告」を踏まえた対応について』（平成 20 年 4 月 18 日九州地方整備局長より対応要請）のうち「内部留保の適正化に基づく国への寄附等」により、公益目的財産の一部を国へ特定寄附を実施した。

II 令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）公益目的支出計画実施報告書の内容

1. 公益目的財産額 : 算定日 平成 25 年 7 月 31 日

財産額 580,570,413 円

2. 当該年度の公益目的収支差額 (①+②-③) 322,873,747 円

① 前年事業年度末日の公益目的収支差額 278,459,498 円

② 公益目的支出の額 44,414,249 円 (計画 37,345,000 円)

③ 実施事業収入の額 0 円 (計画 0 円)

3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額

257,696,666 円（計画 264,733,413 円）

4. 2で記載した額が計画した見込額と異なっている理由と概要

当該年度における実施事業別の公益目的支出計画額及び公益目的支出額並びに支出額－支出計画額の理由は以下のとおり。

①継1：地域活性化等支援事業

公益目的支出計画額：17,038,000 円、支出額：21,012,966 円

支出額－支出計画額：3,974,966 円

[差額が生じた理由]

年度当初において、過去の実績及び当該年度における人員構成の見直しを考慮し、公益目的支出計画額を3,570千円上回る20,608千円の予算を計上していたが、

- ・支援費の予算額11,000千円に対し、11,945千円の執行額となり約1,000千円の執行増額となった。
- ・人件費(役員報酬、給与手当、法定福利費)において、年度内に増員を計画していたが派遣職員での対応としたために約1,000千円の執行減となった。
- ・上記派遣職員の雇用により、720千円を外注費としての増額執行となった。
- ・その他の諸経費として、旅費交通費における約200千円の減額執行の他、合計約300千円の執行減となった。

以上の理由により、当初の予算額20,608千円に対して21,013千円の執行額となり、約400千円の執行増額となった。

したがって、公益目的支出計画額に対し約4,000千円の支出増加となった。

②継2：建設技術広報事業

公益目的支出計画額：10,307,000 円、支出額：13,401,283 円

支出額－支出計画額：3,094,283 円

[差額が生じた理由]

年度当初において、過去の実績及び当該年度における人員構成等を考慮し、公益目的支出計画額を4,940千円上回る15,246千円の予算を計上していたが、

- ・人件費(役員報酬、給与手当、法定福利費)において、年度内に増員を計画していたが派遣職員での対応としたために約1,620千円の執行減となった。

- ・上記派遣職員の雇用により、720千円を外注費としての増額執行となった。
- ・その他諸経費について、印刷製本費、諸謝金、交際費等において、約945千円の執行減となった。

以上の理由により、当初の予算額15,246千円対して約13,402千円の執行額となり、約1,845千円の執行減額となった。

したがって、公益目的支出計画額に対し約3,100千円の支出増加となった。

③特定寄附（寄1）

公益目的支出計画額：10,000,000円、支出額：10,000,000円

支出額－支出計画額：0円

令和元年度における、上記実施事業全体では、公益目的支出計画額：37,345,000円に対して、支出額：44,414,249円となり、7,069,249円と支出が増額となっているが、前年度までの支出累計額及び今後の実施事業の規模等から実施期間に影響はないと考える。

5. 公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日 令和13年3月31日